

ながさき

No.159

2018.2.1

市議会だより



出島表門橋(平成29年11月24日供用開始)



主な掲載内容

- 10月臨時会・11月定例会の概要……………2P
- 一般質問……………3～6P
- 平成28年度決算の議決結果と常任委員会における
審査の主な内容……………6～7P
- 11月定例会の議決結果と常任委員会における
審査の主な内容……………8～9P
- 平成29年の長崎市議会……………10～11P
- 人事、議員提出議案、2月定例会の予定など……………12P

平成29年11月24日、シーボルトゆかりの地であるライデン市とのさらなる交流促進を図るため、長崎市議会議場で長崎市・ライデン市姉妹都市提携調印式が行われました。

本会議の様相を長崎ケーブルメディアやインターネットで生中継しています。

また、インターネットでは録画中継もご覧になれます。You Tube（ユーチューブ）でも視聴できます。

[長崎市議会](#)

[検索](#)

10月臨時会の概要

10月6日に開いた臨時会では、児童数が減少していること等を勘案し、尾戸小学校を長浦小学校に統合するのに伴い、尾戸小学校を廃止するための第110号議案「長崎市立小学校条例の一部を改正する条例」が提案され、教育厚生委員会が審査しました。

委員会では、統合後の尾戸地区から通う児童に対する交通費負担の考え方などについて質すなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。本会議では、教育厚生委員長からの審査報告後、全会一致で可決しました。

11月定例会の概要

平成29年11月定例会を、11月27日から12月14日まで開きました。

定例会初日の本会議では、交流拠点施設の検討状況に係る市長からの行政報告などが行われた後、各常任委員長が平成28年度決算議案の審査報告を行い、採決の結果、全て認定しました。

(詳細はP6・7)

また、11月定例会に上程された議案についての提案理由説明、各常任委員会へ付託されました。

11月30日から12月5日までは市

政一般質問を行い、14名の議員が登壇しました。(詳細はP3～6)

* * *

6日から11日までは各常任委員会において付託された議案や請願などの審査を行いました。(詳細はP8・9)

12日には、長崎駅周辺再整備、観光客受入対策、雇用・人口減少対策の特別委員会を開き、これまでの調査を踏まえた総括質疑を行いました。

また、旧佐古小学校跡地に建設を計画している仁田佐古小学校の新校舎の敷地に存する小島養生所等の遺跡を完全保存することについて、住民投票により賛否を問うための条例制定を求め署名が、条例の直接請求に必要となる有権者数の50分の1以上集められ、市長に対し請求がなされたことから、12日の本会議において、第151号議案「長崎市の小島養生所等遺跡の完全保存に関する住民投票条例について」が市長の意見を付した上で提案されました。

13日に同議案の審査を行った教育厚生委員会においては、条例制定請求代表者による意見陳述を行った後、同請求代表者等に対し、市の見解と請求内容との相違点などについて質しました。その後、教育長、市長の出席を要請し、学校建設や遺構の保存に対する見解などについて質しました。市長からは、学校建設と遺構の保存は2つと

も価値のあることであるため、その総和が最大になるように両立を目指して取り組んでいきたいとの答弁がなされました。

その結果、幅広い市民の意見を聞くために住民投票を行うべきであるとの賛成意見が出される一方、署名の重みは理解するが、学校建設の早期着手を求める地域の強い要望もあっており、住民投票を行うことが地域を二分することにつながりかねないため、地域との協議を積み重ねて政策決定されたプロセスを覆してまで、全市民に問わなければいけないとする主張には、くみすることはできないとする反対意見が出され、採決の結果、賛成少数で否決しました。

* * *

14日は、同委員会において、旧佐古小学校敷地における遺構の発掘調査が終了していないことや遺構の取り扱いはについて長崎大学との調整が済んでいないことから9月定例会で継続審査としていた、第92号議案「工事の請負契約の締結について(仁田佐古小学校建設特殊基礎工事)」の審査を行いました。委員会では、慎重に審査を行った結果、工事により遺構の価値が損なわれ、二度と国指定文化財に成り得ないことから認められないことなどを主な論拠とする反対意見が出される一方、全面的な発掘調査は終了していること、ま

た、長崎大学から、学校建設と遺構の保存は市の専権事項であり、今後の遺構の保存・活用について協力するとの回答を得ていることなどを理由とする賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

なお、委員会においては、保存と活用に当たっては、長崎大学をはじめ、日本医師会、長崎県医師会などの医療関係者の意見を聴取するとともに、これまで出された意見などを尊重し、進めることを要請する旨の附帯決議を全会一致で可決しました。

* * *

定例会最終日の14日は、まず、教育厚生委員長からの第151号議案の審査報告後に記名投票により議決し、その後、そのほかの議案について各常任委員長が審査報告を行い、それぞれ議決しました。(詳細はP8・9)



▲住民投票条例議案を審査する教育厚生委員会の様子

一般質問

市民クラブ

長崎みなとメディカルセンターの課題と解消策

問 E R型の救命救急センターを設置するための、救急専門医確保のめどは立っているのか。また、小児・周産期医療充実のための体制はどのようになっているのか。

答 E R型の救命救急センターについては、現在、設置に必要な人材の確保ができていないため整備に至っていないが、平成29年9月に1名の救急専門医を採用しており、今後、平成30年度までにはさらに1名の救急専門医を確保し、早急に整備できるよう努めたい。また、小児・周産期医療については、専門医確保のめどが立ち、平成30年4月からの採用に向け準備を進めている。これにより、32週未満の新生児についても受け入れ可能な体制を整え、小児・周産期医療の充実に取り組みたい。

E R型の救命救急センター…24時間体制で、軽症患者から重症患者まで全ての救急患者に対応する体制

BSL-4施設設置容認の根拠

問 住民による設置反対の陳情が行われ、反対の署名もふえているが、施設設置の前提である「住民の合意」はどのような方法で確かめたのか。

答 市民の中には賛否の声が併存しているものの、大学による説明が重ねられる中、地域連絡協議会等での議論の状況やシンポジウム等での意見、また、関係団体から早期整備を求める要望が提出されるなどの状況から、市民の理解が着実に広がっていると認識した。

また、安全性の確保と市民の理解にかかわる大切な要素である国の関与も明確に示されたことを受け、総合的に勘案する中で、施設設置に協力するという判断を行った。

今後、計画がより具体的に進む中で大学がしっかりとした説明をすることで市民の理解が進むものと考えており、引き続き、大学と国に対して、地元自治体として要請した事項の確実な履行を求めていくとともに、必要な支援をしていきたい。

伝統行事への支援のあり方

問 伝統行事の継承にはさまざまな地域の課題や資金不足といった問題点があるが、支援に対する市の考え方を伺いたい。

答 伝統行事への支援として、ペーロ

ンについては、長崎ペーロン選手権大会の共催費や上位チームの県外大会への派遣費などの補助を行っており、郷くんちや郷土芸能大会については、大会開催に係る経費や保存会などへの補助を行っている。

ペーロンをはじめとする長崎市のさまざまな伝統文化の継承は、地域活性化やコミュニケーションの醸成につながるもので、長崎ならではの伝統文化として保存・継承していく必要があると考えている。

今後も、関係団体や地域の方々の意見を踏まえながら継続的な支援を行うとともに、さらに多くの方に伝統行事の歴史や魅力を知ってもらうため、伝統行事が注目を浴びるよう、さまざまな方法でPRに努めたい。



▲見事な櫓さばきが、大勢の方を沸かせます

明政クラブ

市民からの「ナガサキ動画」の募集

問 「週刊あじさい」の背景で使われている映像を市民から募集すること、市民と市役所が一体となって長崎をPRできないか。

答 長崎市では、市政情報を広く市民へ発信するための広報テレビ番組として、「週刊あじさい」を放送している。この放送に興味を持つ市民が増加することは、市政への理解者がふえることにつながり、多くの映像が集まることで、市民ならではの長崎市の隠れた魅力の再発見や、県内観光客の誘致にもつながると考えている。そのため、まずは、長崎市のホームページ内の「長崎ネット放送局」で配信する作品の募集から取り組みたい。

また、市民の皆様の反応を踏まえた上で、将来的には、現在、年間2本制作している「週刊あじさい」の背景映像のうち1本に、市民の皆様から募集した映像を使用できないか検討を進めたい。



▲「週刊あじさい」のオープニング

学校給食センターの建設

問 建設に向けた調査が進んでいるが、建設地等の議論の前に、まずは給食のあり方や課題等をPTAや地域の方に説明し、給食センターについての理解を広めるべきではないか。

答 学校給食については、現行の給食室ではアレルギー対応が困難であることや施設等の老朽化、業務の効率化などの課題解決のため、給食施設の集約化を図り、よりよい給食提供が可能となるよう新たな学校給食センターを建設することとしている。これまでPTAに対しては、各種会議の機会を捉えて説明したり、役員と他都市を視察し、意見交換を行ったりしている。

施設整備に当たってはPFI導入可能性調査結果の検証を行い、事業手法を決定予定だが、現在、PTA連合会や地元自治会などから疑問や質問を受けているため、今後はさらに十分な協議を行うなど、

より丁寧な対応に努めるとともに、他都市の状況も参考にしながら、安全・安心でおいしい給食の提供が可能となるよう取り組みたい。



地域コミュニティのしくみづくり

問 地域の各種団体が連携し一体的な運営を行う新たなしくみづくりが進められているが、地域説明会の開催状況と、出された意見をどう反映するのか伺いたい。

答 将来も地域で安全安心に暮らすことができるよう、地域の力を集める組織として（仮称）地域コミュニティ連絡協議会を設立していただき、長崎市が人、拠点、資金の支援を行う新しいしくみを提案している。

この説明会については、まず市内17ブロックで開き、その後、48小学校区で開催した。あわせて、連合自治会等の地域団体を対象に35回開催した。

説明会では「協議会として認められるためには、どれくらいの団体が入ればいいのか」、「交付金について、人口割だけでは地域間の差がありすぎる」といった意見があり、その意見を踏まえた現在の案では、協議会の構成団体は活動範囲内の自治会の8割以上が加入していることや、交付金の上限額の算定方法は人口割に基礎割を加えるなどとしている。

今後とも、まちづくり計画策定や協議会設立に向けた地域の話し合いについて支援を行うとともに、いただいた意見を踏まえ、長崎市に合ったしくみとなるよう制度設計を行いたい。

公明党

平和公園の雨天時対策

問 平成23年9月定例会の一般質問において、関係部署と協議を行うとの答弁があったが、その後、どのような協議を行ったのか。また、今後どのように対策を進めていくのか。

答 平和公園の日よけ、雨よけ対策については、平成23年9月定例会終了後に関係部局との協議を行っている。

協議の中では、平和案内人として活動されている方々の意見において、日よけや雨よけの



設置の要望が多く寄せられている状況ではないことから、当時、設置の必要性は高くないとの判断を行っている。

今後の対応としては、改めて関係部局や平和団体、平和案内人の皆様にご意見をお聞きしながら、必要に応じてアンケートを行うなど意見を集約した上で、雨天時対策の必要性について検討していきたい。

賢人会議の被爆地開催

問 核保有国と非核保有国が被爆の実

相を共有するため、真の橋渡しとなり得る「核軍縮の実質的な進展のための賢人会議」を長崎市で開催すべきではないか。

答 外務省は、核兵器禁止条約の成立により対立が深まっている核保有国と非核保有国の橋渡しの役割を務めるため、有識者が核軍縮に向けた提言について議論する賢人会議を設置している。

平成29年11月27日・28日に広島市において開催された会議では、広島平和記念資料館の見学や被爆証言の聴講、NGOとの意見交換会を行うなど、委員が直接被爆の惨状を自分の目で見て、被爆者や市民社会の切なる願いを耳で聞き、心で感じる機会が設けられており、会議を被爆地で開催する大きな意義があったと考えている。

賢人会議の次回開催は来春に予定されており、それ以降の開催は未定であるが、長崎市での開催の意義は十分であると考えており、その可能性については主催者である外務省と協議したい。

生きづらさを解消するための取り組み

問 LGBTの方は、周囲や家族の理解が得られない、偏見があるなどの理由で生きづらさを抱えている方も多いが、この点を解消するための取り組みを伺いたい。

答 長崎市では、平成28年に策定した

「第2次長崎市人権教育・啓発に関する基本計画(改訂版)」に基づき、さまざまな人権課題の取り組みの一つとして、LGBTなどの性的少数者への取り組みを進めている。

現在は、性的少数者や多様な生き方を認め合いながら生きることの大切さについて、市民の正しい知識を育てるために、人権問題講演会や中小規模の講座の開催、リーフレット等への記載などに取り組んでいる。

今後引き続き、市民に対して正しい理解を促し、社会全体が多様性を受け入れるための取り組みを進めたい。

LGBTとは

L:(レズビアン/女性同性愛者)

G:(ゲイ/男性同性愛者)

B:(バイセクシャル/両性愛者)

T:(トランスジェンダー)

／性同一性障害など)

の頭文字を取った単語で、性的少数者の総称の一つ

創生自民

銅座市場崩落事故の対応

問 今後の銅座川プロムナード整備事業への影響と市場周辺への安全対策に

ついて伺いたい。

答 銅座川プロムナードについては、まちぶらプロジェクトの一環として、銅座地区の新たなにぎわいを創出し、魅力的なエリアとして、人々が集い、にぎわうまちづくりを進めるため、平成36年度完成に向けて事業を進めている。

現在、用地取得を主体に事業を進めているが、今回の事故により事業の遅れが生じないように、引き続きスピード感を持って対応したい。

また、安全対策としては、銅座川に崩落した瓦れき等による降雨時の二次災害や、崩落拡大により周辺の建物への影響波及のおそれがあることなどから、現在、瓦れきの撤去などの作業を行っている。

また、銅座市場の解体を行う段階においては、周辺の建物等に影響がないよう細心の注意を払いながら、安全に解体を進めていきたい。



▲銅座市場の崩落現場

官民協働による交流拠点施設の生かし方

問 交流拠点施設を生かして地元事業者の仕事をつやすため、官民連携によ

り、どのように取り組もうとしているのか。

答 経済波及効果をより大きくするためには、ハード面とあわせて官民一体となったソフト面の取り組みが必要不可欠と考えている。その中で、平成28年11月には100以上の地元企業や団体が参画する「長崎MICE事業者ネットワーク」が設立され、学会の視察やセミナーの実施など、地元受注拡大に向けたスキルアップが図られている。

また、長崎国際観光コンベンション協会において、MICE開催時に地元事業者の紹介や地元飲食店への誘客などを行っているが、今後は、グラバー園や出島など、長崎独自の観光資源や地元商店街などを活用したユニークベニューやアフターコンベンションにより、より多くの経済効果を地元にもたらし、より多くができて考えている。

長崎市としては、今後とも地元への経済効果を高めるための取り組みを官民一体となって進めていきたい。

日本共産党

交流拠点施設の建設

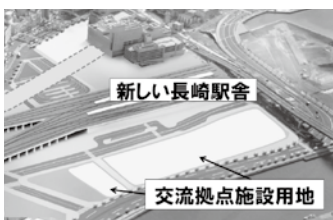
問 MICEの推進に関しては、既存の施設で対応するべきだと考えるが、市の見解を伺いたい。

答 少子高齢化の進展による経済の縮小が懸念される中、長崎市では地域資源を最大限に生かし、交流人口をさらに拡大していくことが求められている。

その中で、MICEの推進は、観光客だけでなく新たなビジネス客などの来訪により、まち全体の活性化が期待されることから、長崎市にとって重要な取り組みであると考えている。

しかし、現在、受入施設については複数の会議室や展示機能などがなく、MICEを開催するための機能として十分でない状況である。

交流拠点施設は経済を活性化させ、市民生活を支えることにつながる未来への投資であり、標準装備すべき施設であると考えているため、今後も市民説明会等の開催を含め、提案内容を丁寧に説明し、ご意見をいただきながら交流拠点施設の整備検討を進めた



▲交流拠点施設建設予定地

国民健康保険税の引き下げ

問 県単位化により保険税が増額された場合、一般会計からの繰り入れにより、少なくとも現行税率を維持し、さらには保険税を引き下げるべきと考えますが、見解を伺いたい。

答 現在、長崎市では被保険者の負担軽減のため、一般会計からの繰り入れを平成29年度まで限定的に実施しているが、国においては、赤字補てん的な一般会計からの繰り入れは計画的・段階的に解消すべきものとしている。

今後もし一般会計繰入金を継続し、さらに増額することにより税率を引き下げることは、一般会計においても人口減少の影響などにより今後厳しい財政状況が見込まれること、また、国保被保険者以外の市民に負担を強いることになることから困難であるが、被保険者の保険税の負担が急激に上昇するようならば回避する必要があるため、国が示している激変緩和策を有効に活用していきたい。

チーム2020

カズオ・イシグロ氏への名誉市民称号の贈与

問 ノーベル文学賞を受賞したカズ

オ・イシグロ氏に対し、国内で唯一つながらりのある都市として名誉市民称号を与え、功績を市内外に発信すべきではないか。

答 名誉市民については、条例で「社会の進展又は文化の興隆に貢献し、その功績が卓絶で、世の尊敬を受けた市民又は本市に縁故の深い者」と規定しており、選定に当たっては、その時代において市民の総意が得られる方として選定している。また、存命の方を対象として称号を贈与し、公の場に参加し、多くの市民と接する中で、経験や知識、思いなどを広く伝えるという役割も担っていたこととしている。

長崎市では現在、名誉市民をはじめ他の顕彰制度等も踏まえながら、カズオ・イシグロ氏の顕彰に向けた検討を進めており、今後、議会や附属機関である長崎市表彰審査委員会の意見も伺いながら、判断を行いたい。

カズオ・イシグロ：長崎市で生まれ、5歳まで過ごした後に渡英し、イギリスに帰化した小説家。これまで世界的に権威ある文学賞の1つとされるイギリスのブッカー賞をはじめ、数々の賞を受賞し、平成29年12月にノーベル文学賞を受賞した。作品の中には、原爆投下後の長崎が描かれたものもある。

平成28年度決算の議決結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第84号	平成28年度長崎市水道事業会計決算	建設水道	認定
第85号	平成28年度長崎市下水道事業会計決算	〃	〃
第97号	平成28年度長崎市一般会計歳入歳出決算	所管の各常任委員会	〃
第98号	平成28年度長崎市観光施設事業特別会計歳入歳出決算	環境経済	〃
第99号	平成28年度長崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	教育厚生	〃
第100号	平成28年度長崎市土地取得特別会計歳入歳出決算	建設水道	〃
第101号	平成28年度長崎市中央卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	環境経済	〃
第102号	平成28年度長崎市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	建設水道	〃
第103号	平成28年度長崎市財産区特別会計歳入歳出決算	総務	〃
第104号	平成28年度長崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	教育厚生	〃
第105号	平成28年度長崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	〃	〃
第106号	平成28年度長崎市生活排水事業特別会計歳入歳出決算	建設水道	〃
第107号	平成28年度長崎市診療所事業特別会計歳入歳出決算	教育厚生	〃
第108号	平成28年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	〃	〃
第109号	平成28年度長崎市立病院機構病院事業債管理特別会計歳入歳出決算	〃	〃

平成28年度決算の常任委員会における審査の主な内容

議会では毎年度、一般会計・特別会計・企業会計の各会計決算について、予算目的に沿って適切に執行されたかどうかを審査します。本年度は、教育厚生、環境経済、建設水道委員会が10月16日から18日（18日は建設水道委員会のみ）、総務委員会が10月19日、20日に審査を行いました。

総務委員会

総務費において、自治会への加入を促進するための抜本的な施策を講じる考え、合併10周年記念事業の概要と検証結果、軍艦島の保全に係る整備状況と今後の整備計画などについて慎重に審査しました。

さらに、総合的な問題として、経常収支比率が悪化している状況において、大型事業への投資が今後増加することに対する見解、財政状況に関する監査委員からの指摘に対する見解などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、市民会館は市が直営で行うべきであるため、行政改革の名のもとに職員数を減らすことは認められないなどの反対意見が出された一方、委員会や監査委員からの指摘を十分踏まえ、PDCAサイクルを確実に実施し、コストの縮減や効率化に努めてほしい、市町村建設計画等の実施については、期限が迫っている合併特例債や地域振興基金を活用し、期限内での完成を目指してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

教育厚生委員会

民生費において、民間委託により実施した生活保護世帯等の中学生に対して行う学習支援の取り組み内容や、生活保護受給者の就労意欲の低下を招かないために一定の就労所得を給付することができるとの自立支援給付金制度の活用状況について慎重に審査しました。

次に、教育費において、教職員の長時間勤務を是正するための課外クラブ指導員の活用の方向性や、身分保障についての考え方などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、国民健康保険税の値上げは認められないなどの反対意見が出された一方、賛成の立場から、生活保護者の就労支援を推進し、再び生活保護に戻ることをないように自立に向けての支援をしてほしい、生活保護費の約半分を医療扶助費が占めているため、ジェネリック医薬品を用いるなどの適正な予算執行に努めてほしい、保育士等の処遇改善が適切に実施されるために、保育所等に対する監督指導を行ってほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

環境経済委員会

農林水産業費において、有害鳥獣の効果的な捕獲に向けたICTの活用状況、ふるさと納税制度の活用など部局間で連携して「長崎の魚」をPRする考え、（仮称）お魚センター建設に向けた関係団体との協議状況などについて慎重に審査しました。

次に、商工費において、クルーズ客船貸切バスの道路混雑解消に向けた具体的な取り組み、世界遺産を活用し周遊させるための具体的な取り組みと宿泊施設を充実させる考えの有無、修学旅行の誘致件数、軍艦島資料館移設整備後の効果と入館者数増加に向けた取り組みなどについて慎重に審査しました。

その結果、安定した水産資源の確保に向けて藻場の保全により一層取り組みをほしい、DMOについては、今後の実践に向けて人材と予算の確保にしっかりと取り組んでほしい、観光消費の増加に向けて減少傾向にある国内の修学旅行の誘致に加え、海外の修学旅行の誘致にも積極的に取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。

建設水道委員会

土木費において、道路橋りょう維持費などで多額の繰り越しや不用額が生じた経緯と予算計上時の積算のあり方、工事発注が年度末に集中する理由と年間を通して平準化する考えの有無、老朽危険空き家対策事業の実績をふやす取り組み、ながさき住みよ家リフォーム補助金の申し込み期限を延長する考えの有無などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、九州新幹線西九州ルートは時間短縮効果が薄いことなどから認められないなどの反対意見が出された一方、貴重な財源が予算の精査が不十分であったことにより多額の不用額となっているため、今後は予算を精査し、不用額や繰越額を抑えてほしい、生活道路環境整備費など、非常に高い執行率を示すものについては次年度予算に反映してほしい、行政サテライト機能再編成に伴い新たに分割された予算は、本庁と各総合事務所を越える流用のルールを確立し、柔軟に対応してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

11月定例会の議決結果（予算・条例など）

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第92号	工事の請負契約の締結について（仁田佐古小学校建設特殊基礎工事）	教 育 厚 生	原案可決 ※
第112号	平成29年度長崎市一般会計補正予算（第5号）	所管の各常任委員会	〃
第113～118号	平成29年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算（第1号） ほか特別会計補正予算5件	〃	〃
第119号	平成29年度長崎市水道事業会計補正予算（第2号）	建 設 水 道	〃
第120号	平成29年度長崎市下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃
第121号	長崎市事務分掌条例の一部を改正する条例	総 務	否 決
第122号	地方独立行政法人長崎市立病院機構評価委員会条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	原案可決
第123号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	総 務	〃
第124号	長崎市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃
第125号	長崎市公民館条例の一部を改正する条例	〃	〃
第126号	長崎市企業立地の促進による産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	総 務	〃
第127号	長崎市遠藤周作文学館条例の一部を改正する条例	環 境 経 済	〃
第128号	長崎市景観条例の一部を改正する条例	建 設 水 道	〃
第129号	長崎市外海子ども博物館条例を廃止する条例	教 育 厚 生	〃
第130号	地方独立行政法人長崎市立病院機構定款の変更について	〃	〃
第131号	市道路線の認定について（認定1件）	建 設 水 道	〃
第132～135号	工事の請負契約の締結について（稲佐山公園斜面輸送施設設置工事ほか3件）	所管の各常任委員会	〃
第136号	工事の施行協定の一部変更について（市道大橋町赤迫1号線道路改良事業に係る立体交差新設工事の施行）	建 設 水 道	〃
第137号	公有水面埋立てに関する意見について（琴海形上町）	〃	〃
第138～141号	公の施設の指定管理者の指定について（長崎市小ヶ倉地区ふれあいセンターほか3件）	総 務	〃
第142号	平成29年度長崎市一般会計補正予算（第6号）	所管の各常任委員会	〃
第143～147号	平成29年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算（第2号）ほか特別会計補正予算4件	〃	〃
第148号	平成29年度長崎市水道事業会計補正予算（第3号）	建 設 水 道	〃
第149号	平成29年度長崎市下水道事業会計補正予算（第2号）	〃	〃
第150号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	総 務	〃
第151号	長崎市の小島養生所等遺跡の完全保存に関する住民投票条例について	教 育 厚 生	否 決

※第92号議案は教育厚生委員会において附帯決議を可決しました。
全ての議決結果は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。

11月定例会の常任委員会における審査の主な内容

総務委員会

平成29年度長崎市一般会計補正予算第5号(総務委員会所管部分)を可決

総務費において、入札制度の見直しに対応するため、システム改修を行う経費を増額するための入札・契約制度適正化推進費が計上されました。

委員会では、予定価格5000万円以下の工事において、新たに設置した総合事務所の区域ごとでの入札へ見直すことに伴う地区業者への発注見込み、入札制度の見直しに伴う関係業者への周知方法について質すなど、慎重に審査しました。

さらに総務費において、社会保障・税番号制度に係る情報連携に対応するため、システム改修を行う経費を増額するための基幹業務系システム運営費が計上されました。

委員会では、今回の改修に伴い、今後簡略化できる手続きの件数について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、マイナンバー制度に反対であるため、同制度に係るシステム改修を行うための予算については認められないなどの反対意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

教育厚生委員会

長崎市社会福祉会館の早期建替えを求める請願を採択

本請願は、新市庁舎との往来が容易な場所を確保し、具体的な計画を策定した上で、早急に長崎市社会福祉会館の建て替えを行うことを求めるものです。

委員会では、平成22年に長崎市社会福祉会館建替え検討会から早急な整備を要望されているにもかかわらず、具体的な検討が進められていないため、今後、早急に検討を行う考えの有無や、請願人から現地建て替えではなく新市庁舎周辺での建て替えを求められていることに対する市の見解について質すなど、内容検討の結果、全会一致をもって本請願を採択しました。



▲現在の建物は昭和33年建設

なお、閉会后、本請願を採択した旨を議長から市長に對し送付し、処理の経過及び結果の報告を平成30年6月定例会までに行うよう求めました。

環境経済委員会

平成29年度長崎市一般会計補正予算第5号(環境経済委員会所管部分)を可決

総務費において、ふるさと納税制度により実施しているがんばらばらば長崎市応援寄附金の受入額の増が見込まれることから、謝礼品等に係る経費を増額するためのがんばらばらば長崎市応援寄附推進費が計上されました。

委員会では年末は寄附の駆け込み時期であることから、昨年末の寄附額や年末年始の職員の勤務体制、謝礼品等に係る国からの指導に対する見解、市外に居住する市職員の寄附の状況について質すなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲謝礼品は350品以上(写真は一例)

建設水道委員会

平成29年度長崎市土地取得特別会計補正予算第1号を可決

今回の補正は、銅座町松が枝町線(銅座工区)都市計画街路整備事業の整備予定地である銅座市場について、スラブ及び建物の一部を解体する経費を増額しようとするものです。

委員会では、議案審査に先立ち、銅座市場崩落後の状況を十分に把握するため、現地調査を行いました。

その後の審査では、建物の解体について、権利者との合意の状況、解体作業を迅速に行うため、発注を随意契約で行う考えの有無について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、現在の危険な状況を一刻も早く解消するためにも、全ての権利者から迅速に解体の同意を得て、事業の進捗を図ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲銅座市場崩落後の状況を調査

	<p>○第92号議案「工事の請負契約の締結について（仁田佐古小学校建設特殊基礎工事）」は継続審査と決定</p> <p>〔市長提出議案17件、議員提出議案の条例1件、意見書2件、決議1件について、それぞれ審議決定〕</p>
10月1日	<p>⑤支所・行政センターを含む組織再編成による新しい体制がスタート 行政サービスの窓口となる20カ所の「地域センター」と、地域に向く専門職員の拠点となる4カ所の「総合事務所」を新たに設置</p>
10月6日	<p>○10月臨時会開会</p> <p>○第110号議案「長崎市立小学校条例の一部を改正する条例」について審査し、可決</p> <p>○総額1億4,028万9千円の平成29年度長崎市一般会計補正予算（第4号）の専決処分を承認</p> <p>〔市長提出議案2件について審議決定〕</p>
10月16日	<p>○平成28年度一般会計、各特別会計及び各公営企業会計に係る決算議案を審査</p> <p>教育厚生委員会、環境経済委員会（10月16日・17日） 建設水道委員会（10月16日・17日・18日） 総務委員会（10月19日・20日）</p>
11月2日	<p>○日中国交正常化45周年記念に係る中国中山市への訪問に議長ほか9名の議員が参加（～5日）</p>
11月7日	<p>○御朱印船プロジェクト訪問団（ベトナム）に議長ほか3名の議員が参加（～13日）</p>
11月24日	<p>⑥市議会議場にて長崎市・ライデン市姉妹都市提携調印式</p> <p>⑦出島表門橋完成記念式典</p>
11月27日	<p>○11月定例会開会（～12月14日）</p> <p>○平成28年度長崎市一般会計歳入歳出決算など15件の決算議案を認定</p>
12月12日	<p>○本会議開催。第151号議案「長崎市の小島養生所等遺跡の完全保存に関する住民投票条例について」を上程し教育厚生委員会に付託 委員会では賛成少数で否決すべきものと決定（～13日）</p>
12月14日	<p>⑧第151号議案「長崎市の小島養生所等遺跡の完全保存に関する住民投票条例について」、記名投票による採決の結果、原案について賛成少数で否決</p> <p>○総額21億6,012万6千円の平成29年度長崎市一般会計補正予算（第5号）を可決</p> <p>○総額2億9,838万4千円の平成29年度長崎市一般会計補正予算（第6号）を可決</p> <p>○議員提出議案の「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」を全会一致で可決</p> <p>〔市長提出議案57件、議員提出議案の意見書1件、附帯決議1件〕 について審議決定</p>
12月15日	<p>○学校給食センター整備に係る市長への申し入れを実施 今後の望ましい学校給食のあり方等について意見交換を行う場を設置し、関係団体と十分議論を尽くすことを申し入れた</p>



中央地域センター開所式



提携書を交換し、握手を交わす
レンフェリンク市長と田上市長



レンフェリンク市長に記念品を渡す
野口議長



出島表門橋完成記念式典の様子



記名投票の様子

平成29年の長崎市議会



①九州新幹線西九州ルート of 全線フル規格化への協力を求めた



②本会議中に、震度6弱の地震が起こった想定で実施



③ 連合審査会の様子



④ 多くの関係者が見守る中、署名式が行われた



④ 各国代表と面会し、訪日の際には被爆地訪問を検討していただくよう要請

- 2月22日 ○2月定例会開会（～3月16日）
○長崎駅周辺再整備特別委員会、観光客受入対策特別委員会、定住人口対策特別委員会の調査終了に伴い、各特別委員長が調査結果を本会議に報告
○常任委員会、議会運営委員会の委員を選任
- 3月16日 ○総額2,096億7千万円の平成29年度長崎市一般会計当初予算を可決
〔市長提出議案57件、議員提出議案の意見書2件について、それぞれ審議決定〕
○長崎駅周辺再整備特別委員会、観光客受入対策特別委員会、雇用・人口減少対策特別委員会を設置
- 4月13日 ①長崎県下市町議会新幹線推進連絡協議会と長崎県議会とが合同で、JR九州や鉄道・運輸機構九州新幹線建設局等との九州新幹線西九州ルートについての意見交換を実施
- 6月9日 ○6月定例会開会（～28日）
②市議会BCP（業務継続計画）に基づく防災訓練を実施
○永年勤続表彰：内田隆英議員（15年以上表彰）、筒井正興議員、井上重久議員、池田章子議員、堤勝彦議員、浦川基継議員（10年以上表彰）
- 6月23日 ③「新市庁舎建設事業について」及び「新市庁舎建設に係る周辺道路の交通対策について」、総務委員会と建設水道委員会の連合審査会を開催し、所管事務調査を実施
- 6月28日 ○総額14億3,690万円の平成29年度長崎市一般会計補正予算（第1号）を可決
○総額4億797万3千円の平成29年度長崎市一般会計補正予算（第2号）を可決
○議員提出議案の「吉原日出雄議員に対する辞職勧告決議」を可決
〔市長提出議案22件、議員提出議案の決議1件について、それぞれ審議決定〕
- 7月5日 ○夜景サミット2017inタイに議長ほか13名の議員が参加（～8日）
- 9月1日 ○9月定例会開会（～25日）
○市民友好都市であるライデン市との交流関係をさらに深めるため、姉妹都市提携を行うための第91号議案「姉妹都市の提携について（オランダ王国ライデン市）」を全会一致で可決
- 9月6日 ○議員提出議案の「朝鮮民主主義人民共和国の核実験実施に対し厳重に抗議する決議」を全会一致で可決
- 9月11日 ○名誉市民土山秀夫氏のご逝去に伴う第96号議案「長崎市公葬の執行について」を可決
- 9月20日 ④ニューヨーク国連本部で開催された核兵器禁止条約署名式に、市長や被爆者代表とともに野口議長が出席（～23日）
- 9月25日 ○総額5億7,597万4千円の平成29年度長崎市一般会計補正予算（第3号）を可決

人 事

次の人事案件について、同意することと決定しました。

▼固定資産評価審査委員会委員

前田 利孝 氏（新任）
村上 昭則 氏（再任）
山田 信一 氏（再任）

議員提出議案

▼核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

▼第92号議案「工事の請負契約の締結について（仁田佐古小学校建設特殊基礎工事）」に対する附帯決議（ともに可決）※内容は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。

請 願

委員会審査を行った請願は、次のとおりです。

▼琴海地区防災行政無線個別受信機の撤去に反対する請願
（総務委員会／採択）

▼長崎市社会福祉会館の早期建替えを求める請願
（教育厚生委員会／採択）

▼市政による契約違反、及び虚偽の答弁等の実態を明確化するための調査を求めることに関する請願
（教育厚生委員会／不採択）

▼長崎市乳児院跡地の売却における市民への情報公開に関する請願
（教育厚生委員会／不採択）

陳 情

委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

教育厚生委員会

▼長崎市給食センター設置検討計画に関する陳情

▼養生所（長崎）医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する陳情
環境経済委員会

▼公会堂代替施設の建設に関する陳情

議員派遣

次のとおり議員を派遣しました。

▼日中国交正常化45周年記念に係る中国中山市への訪問

派遣期間 平成29年11月2日～5日

派遣場所 中国・中山市

派遣議員 相川 和彦、井上 重久、

内田 隆英、幸 大助、

堤 勝彦、永尾 春文、

西田みのぶ、平野 剛、

深堀 義昭

▼御朱印船プロジェクト訪問団への参加

派遣期間 平成29年11月7日～13日

派遣場所 ベトナム・ダナン市、ホ

イアン市、タムキー市

そ の 他

派遣議員 浦川 基継、佐藤 正洋、
每熊 政直

○社会福祉法人等無報酬役員届出書の提出

長崎市議会政治倫理条例に基づき、平成29年10月24日に中西敦信議員から届出書が提出されました。

お問い合わせ 議会事務局総務課

電話095・829・1198

2月定例会の予定

2月21日(水)	本会議（招集日）
2月26日(月)～28日(水) 3月 2日(金)	本会議（一般質問）（4日間）
3月 5日(月)～ 9日(金) 3月12日(月)～13日(火)	常任委員会（7日間）
3月15日(木)	本会議（委員長報告等）

※日程は変更となる場合があります。

ぜひ議会をご覧ください！

- 本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。傍聴の際は、本会議は議場入口で、委員会は議会事務局総務課で、受付票に氏名・住所をご記入ください。
- 本会議の様子は、パソコン・スマートフォンにより動画でご覧になれます。
 - ・ケーブルテレビの生中継（長崎ケーブルメディア 11ch）
 - ・インターネットの生中継（長崎市議会ホームページから）
 - ・過去の動画も長崎市議会ホームページ※1やYouTube※2でご覧になれます。
- ※1…平成27年分からはスマートフォンでもご覧になれます。
- ※2…平成25年9月分からご覧になれます。

常任委員会の資料をホームページ公開します

常任委員会での審議内容をよりわかりやすくお伝えするため、平成29年11月定例会分から委員会資料を市議会ホームページ（議決結果一覧ページ）に掲載しています。委員会会議録（2月中旬公開予定）とあわせてご覧いただくと、より具体的な審議内容を知ることができます。

長崎市議会事務局
Facebook



【QRコード】

